

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------|------------|--|
| 事業所番号 | 4171100011 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 真栄会 | | |
| 事業所名 | グループホーム 菜のはな | | |
| 所在地 | 佐賀県神埼市千代田町詫田989番地 | | |
| 自己評価作成日 | 平成25年1月11日 | 評価結果市町村受理日 | |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-------------------|---------|-----------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号 | | |
| 訪問調査日 | 平成25年1月28日 | 外部評価確定日 | 平成25年4月1日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|---|
| <p>・利用者との関わり方を大切にし、コミュニケーションを図る際は必ず目線を合わせ話すことを心掛けています。家事以外の時間も利用者の力を発揮できるように編み物や折り紙、貼り絵、塗り絵を楽しんで行っていただくように支援しています。</p> <p>・月に数回は食事作りの計画を立案し、普段食事作りに関わらないご利用者の方にも食事作りの場を提供し、役割りをもっていただくようにしている。</p> <p>・利用者の状態に合わせた外出支援を行っています。元気な方や外出が好きな方は週に1回は外出していただき、楽しんだり、季節を感じられるように支援しています。体力が低下された方は施設周辺を散歩したり、ホーム内の行事に参加していただいています。</p> <p>・健康面で管理者である看護師、主治医と連携を図り、利用者の方の健康管理を行っています。重度化した場合でも、ご家族や医療機関と連携を図り安心して生活を送っていただくように支援しています。</p> <p>・法人全体で年間の研修計画を作成、実施し職員の質の向上に努めています。</p> |
|---|

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

| |
|---|
| <p>広大な田園地帯で、四季の移り変わりが感じられる自然環境の中、特別養護老人ホームに隣接した2ユニットのホームである。開設して8年、特別養護老人ホームとの連携や協力を受けながら、職員育成に力を入れている。入居者が年々重度化していく中、認知症ケアの専門職としての知識の習得、終末ケアへの前向きな取り組みも評価できる。認知症の方が自らの力が発揮できる支援を日々の暮らしの中で多様に取り入れ、楽しみのある日常を送って頂くため、職員一丸となり頑張っている。</p> |
|---|

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA(南ユニット) (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB(北ユニット) (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | | |
|--------------------|-----|---|---|---|---|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 毎朝、朝礼時に各ユニットの夜勤者、日勤者で理念の唱和を行い、理念に基づいたケアができるように日々取り組みを行っている。 | 毎朝、朝礼時に各ユニットの夜勤者、日勤者で理念の唱和を行い、理念に基づいたケアができるように日々取り組みを行っている。 | 毎日、理念を唱和し、日常のケアで理念の実践に努めている。理念に基づき、行動の制限をしないことや、決めつけない支援、また、職員が待つ介護をする為にケアの現場で指導する等、職員の育成にも力を入れている。 | | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 法人で行う行事(ふれあい祭り・敬老会・避難訓練等)には、地域の方の参加があり交流を図っている。定期的に近所に買い物・外食や美容院に出掛け、地域の一員とし暮らし続けるように支援している。 | 法人で行う行事(ふれあい祭り・敬老会・避難訓練等)には、地域の方の参加があり交流を図っている。定期的に近所に買い物・外食や美容院に出掛け、地域の一員とし暮らし続けるように支援している | 避難訓練等法人の行事には地域の方に参加、協力を頂いている。又、近隣の散歩時には挨拶をする等交流に努めている。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 法人では行っているが、事業所としては行っておらず、実施出来ていない。 | 法人では行っているが、事業所としては行っておらず、実施出来ていない。 | | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1回実施。毎月の行事や利用者、職員の活動内容や事故発生状況、研修内容や、家族の要望、サービスに苦慮している点などを報告。委員の方からの意見や助言はG・H会議の時に報告し全職員に周知し、サービス向上に活用するようにしている。 | 2ヶ月に1回実施。毎月の行事や利用者、職員の活動内容や事故発生状況、研修内容や、家族の要望、サービスに苦慮している点などを報告。委員の方からの意見や助言はG・H会議の時に報告し全職員に周知し、サービス向上に活用するようにしている。 | 会議が定期的に開催され、ホームの状況を詳しく説明し、理解いただくように努めている。推進会議での意見は全職員で検討し、サービス向上に活かしている。 | | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 運営推進会議には市町村担当者の参加があり、ケアサービス内容を報告し意見や助言等をいただき、サービス向上に活用している。 | 運営推進会議には市町村担当者の参加があり、ケアサービス内容を報告し意見や助言等をいただき、サービス向上に活用している。 | 市の担当者が運営推進会議に参加し、行政の専門的な意見を頂き、参考になる点も多く、ホームの運営に役立てている。併設の施設もあり、関係の構築が出来ている。 | | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 法人全体で研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。(今年度は平成24年12月26日に実施)日中、玄関は施錠せず、全室開放。ベットより転落される危険性がある方については量を使用したり、センサーを設置して対応を行っている。 | 法人全体で研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。(今年度は平成24年12月26日に実施)日中、玄関は施錠せず、全室開放。ベットより転落される危険性がある方については量を使用したり、センサーを設置して対応を行っている。 | 法人で作成している身体拘束廃止マニュアルに基づき実践に努めており、内外の研修に参加したり、接遇を含め現場でも指導をしている。玄関の施錠はせず、外出される場合はケアの工夫等で臨機応変に対応している。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている | 法人全体で研修を行い、又外部の研修にも参加し、職員の意識づけを行っている。会議等でも日々のケアを振り返り防止に努めている。動かれる方についても危険がないように、見守りを行っている。(今年度は平成24年12月26日実施) | 法人全体で研修を行い、又外部の研修にも参加し、職員の意識づけを行っている。会議等でも日々のケアを振り返り防止に努めている。動かれる方についても危険がないように、見守りを行っている。(今年度は平成24年12月26日実施) | | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA(南ユニット) (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB(北ユニット) (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|-----|---|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 今年度は権利擁護についての研修は実施していないが、来年度は研修を予定したい。 | 今年度は権利擁護についての研修は実施していないが、来年度は研修を予定したい。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約締結時にはご家族に契約書や重要事項説明書の内容を十分に説明し、理解されたうえで同意を得ている。又、介護報酬改定時は、改めて説明を行い再度同意を得るようにしている。(平成24年度介護報酬改定時には、事前に内容について説明を行い、同意を得た) | 契約締結時にはご家族に契約書や重要事項説明書の内容を十分に説明し、理解されたうえで同意を得ている。又、介護報酬改定時は、改めて説明を行い再度同意を得るようにしている。(平成24年度介護報酬改定時には、事前に内容について説明を行い、同意を得た) | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 玄関先には意見箱の設置を行っている。日々の面会やサービス担当者会議の際に意見や要望を尋ねようとしている。家族からの意見や要望があれば、会議等で職員に伝え家族の意見を反映するようにしている。 | 玄関先には意見箱の設置を行っている。日々の面会やサービス担当者会議の際に意見や要望を尋ねようとしている。家族からの意見や要望があれば、会議等で職員に伝え家族の意見を反映するようにしている。 | 面会時や会議の際に家族から意見を尋ねている。意見や要望が言いやすい環境を心掛けており、これまでもケアの内容や環境に対する意見をサービスに反映させてきた。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | グループホーム会議での意見収集等、日頃から職員とコミュニケーションを図り、意見を聞くように心掛けている。 | グループホーム会議での意見収集等、日頃から職員とコミュニケーションを図り、意見を聞くように心掛けている。 | 運営に関する意見や提案は、会議で自由に発言してもらい反映させることで、職員のやりがいや士気を高める事に繋がっている。又、個人面談もあり、異動希望等も聞いている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 個々の目標管理に対し年に2回面談を行い、進捗状況や考え方、思いを聞き、できる限りの改善や整備を行っている。(平成24年度は特浴を設置し、職場環境の整備を行った設置は南ユニットのみ) | 個々の目標管理に対し年に2回面談を行い、進捗状況や考え方、思いを聞き、できる限りの改善や整備を行っている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 事業所内で毎月の研修計画を立て、全体研修を行うと共に、外部の研修についても交代で参加して職員会議時に報告、発表している。また、日頃問題が発生したケアについては、随時研修を行い、改善に努めている。 | 事業所内で毎月の研修計画を立て、全体研修を行うと共に、外部の研修についても交代で参加して職員会議時に報告、発表している。また、日頃問題が発生したケアについては、随時研修を行い、改善に努めている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 県老協協開催の研修会やグループホーム長等意見交換会に参加し、情報提供を行ったり、グループ討議での意見等をケアに活用している。 | 県の老協協での研修会等に参加し、意見交換を行っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA(南ユニット) (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB(北ユニット) (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | | |
|------------------------------|-----|---|--|---|---|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前はご本人やご家族に施設見学をしていただき、不安な事や要望などを確認しご本人が安心されるようなサービス提供を努めている。 | 入居前はご本人やご家族に施設見学をしていただき、不安な事や要望などを確認しご本人が安心されるようなサービス提供を努めている。 | | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族とは話し合う機会を多く持ち、要望などをケアプランに取り組み、安心した関係づくりに努めている。遠方のご家族には電話で確認するようにしている。 | ご家族とは話し合う機会を多く持ち、要望などをケアプランに取り組み、安心した関係づくりに努めている。遠方のご家族には電話で確認するようにしている。 | | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 入居前の様子などを聞き取り、家族や利用者の要望を確認している。他のサービス利用について対応した例はいまのところない。 | 入居前の様子などを聞き取り、家族や利用者の要望を確認している。他のサービス利用について対応した例はいまのところない。 | | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 個々の出来る事、出来ない事の把握を行い、出来ることへの機会作りを行って支援している。(テーブル拭き、食器拭き、洗濯もの干し、たたみなど) | 個々の出来る事、出来ない事の把握を行い、出来ることへの機会作りを行って支援している。(テーブル拭き、食器拭き、洗濯もの干し、たたみなど)又、昔の行事ごとや調理の仕方を教えていただき、お互いに助け合いながら関係を築いている。 | | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 気軽に訪問でき、居心地良く過ごせる事が出来るような雰囲気作りを行っている。又法人、事業所内の行事等にも参加して頂き絆を大切にしている。又ご家族に毎月のご利用者の状況を手紙で知らせている。 | 気軽に訪問でき、居心地良く過ごせる事が出来るような雰囲気作りを行っている。又法人、事業所内の行事等にも参加して頂き絆を大切にしている。又ご家族に毎月のご利用者の状況を手紙で知らせている。 | | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 個々が昔の事を思い出して頂くような言葉掛けを行い、居室にはご家族の写真を飾っている。馴染みの方の面会時にはご本人の普段の様子をお話したり、馴染みの場所にドライブ等で出掛けたりして支援に努めている。 | 個々が昔の事を思い出して頂くような言葉掛けを行い、居室にはご家族の写真を飾っている。馴染みの方の面会時にはご本人の普段の様子をお話したり、馴染みの場所にドライブ等で出掛けたりして支援に努めている。 | 入居者の希望により自宅や入居前の馴染みの場所へ出かけたり、ふるさと巡りでお墓参り等、思い出を大切にした支援をしている。また、馴染みの美容院へ出かけたり、近所からの面会もある。 | | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 個々の状態を把握し、職員が間に入り利用者同士が支え合い、関われるように支援に努めている。ご利用者同士の関わりの中で特に留意する必要があるご利用者については、ケアプランのサービスとして支援している。 | 個々の状態を把握し、職員が間に入り利用者同士が支え合い、関われるように支援に努めている。ご利用者同士の関わりの中で特に留意する必要があるご利用者については、ケアプランのサービスとして支援している。 | | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA(南ユニット) (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB(北ユニット) (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|------------------------------------|------|--|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービス利用が終了しても、併設の居宅支援事業所のケアマネジャーを通じ情報を提供し相談や支援に努めている。 | サービス利用が終了しても、併設の居宅支援事業所のケアマネジャーを通じ情報を提供し相談や支援に努めている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 個々の思い、意思を大切にし支援に努めている。会議の場ではひとり、ひとりのケース検討を行い、意向の把握に努めている。困難な場合はご家族への声掛け等も行い検討している。 | 個々の思い、意思を大切にし支援に努めている。会議の場ではひとり、ひとりのケース検討を行い、意向の把握に努めている。困難な場合はご家族への声掛け等も行い検討している。 | 日常のケアの中で把握した本人の思い、意向を会議等で共有している。困難な場合には、家族からの聞き取りや入居時に記入した生活歴を見直す等本人本位に検討している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居前の生活歴、入居までの経緯等を本人、ご家族、ケアマネジャー等より情報収集し、職員全員でアセスメント(生活歴・現状)の作成を行い把握できるように努めている。 | 入居前の生活歴、入居までの経緯等を本人、ご家族、ケアマネジャー等より情報収集し、職員全員でアセスメント(生活歴・現状)の作成を行い把握できるように努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 管理日誌、経過記録、医療連携、申し送りノート等で把握に努めている。必要に応じて適宜ケース検討を行い、現状に合わせた支援ができるようにしている。 | 管理日誌、経過記録、医療連携、申し送りノート等で把握に努めている。必要に応じて適宜ケース検討を行い、現状に合わせた支援ができるようにしている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | アセスメントに基づいて本人主体の目標を設定。ご家族の面会時には、日常生活の状況を伝え、要望や意見を聞き作成するように努めている。 | アセスメントに基づいて本人主体の目標を設定。ご家族の面会時には、日常生活の状況を伝え、要望や意見を聞き作成するように努めている。 | 家族の面会時や電話で介護計画について希望を訊ね、同意を得て作成している。入居者それぞれの思いに添った、より具体的な計画となっている。定期的なモニタリングにより、見直しも行われている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個々の状態をケースに記録や申し送りに記載し情報を共有している。月1回は介護計画の評価を行っている。介護計画作成時にはアセスメントの再確認、モニタリングを行い、適宜ケース検討を行い見直しを行っている。 | 個々の状態をケースに記録や申し送りに記載し情報を共有している。月1回は介護計画の評価を行っている。介護計画作成時にはアセスメントの再確認、モニタリングを行い、適宜ケース検討を行い見直しを行っている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ご本人のニーズに応じてサービス提供できるように、ご家族やご利用者と話し合いを行い柔軟な支援やサービスを提供できるように支援している。 | ご本人のニーズに応じてサービス提供できるように、ご家族やご利用者と話し合いを行い柔軟な支援やサービスを提供できるように支援している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA(南ユニット) (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB(北ユニット) (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|------|--|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 近所への買い物や外食の機会、又馴染みの美容院の利用など地域資源を活用するようにしている。 | 近所への買い物や外食の機会、又馴染みの美容院の利用など地域資源を活用するようにしている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 体調に変化があれば、速やかに主治医に報告し、指示を仰ぐようにしている。又他の医療機関受診時ご本人、ご家族の希望を聞き受診の対応を行っている。 | 体調に変化があれば、速やかに主治医に報告し、指示を仰ぐようにしている。又他の医療機関受診時ご本人、ご家族の希望を聞き受診の対応を行っている。 | 入居時に本人や家族が希望する医療機関を選択してもらおう。母体が特別養護老人ホームである事も家族の安心に繋がっており、体調の変化に応じ即対応できるという利点も活かしている。他の病院への受診も支援をし、連携に努めている。 | |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 定期的に管理者(看護師免許保持)の看護師が健康チェックを行っている。日常生活での気づきや医療面などを相談し、助言や指導をいただいている。 | 定期的に管理者(看護師免許保持)の看護師が健康チェックを行っている。日常生活での気づきや医療面などを相談し、助言や指導をいただいている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時には家族と共に受診を行い、家族、病院と情報交換を行っている。又入院中も面会に行き、情報交換は行っている。退院後の受診等も対応している。 | 入院時には家族と共に受診を行い、家族、病院と情報交換を行っている。又入院中も面会に行き、情報交換は行っている。退院後の受診等も対応している。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 重度化した場合については、普段からできる事できない事についてご家族に説明を行い、ケアを行なっている。 | 重度化した場合については、普段からできる事できない事についてご家族に説明を行い、ケアを行なっている。 | 重度化や終末期に向けた方針を作成し、入居時に説明、同意を得ている。また、段階的に家族と話し合いもしている。これまで看取りをした経験はないが、本人や家族の意向に添いたいという前向きな姿勢で対応がなされている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 法人で救急法の研修を実施。AEDや心肺蘇生法を学び、利用者の急変時や事故発生時に備えている。急変時(誤嚥時等)の吸引の仕方についても研修会を実施した。(救急法の研修については、平成25年1月23日、24日に実施予定) | 法人で救急法の研修を実施。AEDや心肺蘇生法を学び、利用者の急変時や事故発生時に備えている。急変時(誤嚥時等)の吸引の仕方についても研修会を実施した。(救急法の研修については、平成25年1月23日、24日に実施予定) | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回避難訓練実施。また緊急連絡網で全職員に連絡がいくように、定期的に夜間緊急連絡網での訓練も実施している。避難訓練時には地域の方にも参加していただいた。(緊急連絡については、メールを使用した訓練も行った) | 年2回避難訓練実施。また緊急連絡網で全職員に連絡がいくように、定期的に夜間緊急連絡網での訓練も実施している。避難訓練時には地域の方にも参加していただいた。(緊急連絡については、メールを使用した訓練も行った) | 災害時の対応についてのマニュアルに基づき定期的に避難訓練を実施している。運営推進会議でも協力を呼び掛け、消防署や地域住民からの協力も得ている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA(南ユニット) (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB(北ユニット) (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | | |
|----------------------------------|------|--|---|---|---|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 個々の性格、認知症の症状を把握し、利用者に合わせた対応を行っている。会議の時でも言葉使いや、声のトーンにも留意するように助言や指導を行っている。 | 個々の性格、認知症の症状を把握し、利用者に合わせた対応を行っている。会議の時でも言葉使いや、声のトーンにも留意するように助言や指導を行っている。 | 全職員が認知症サポーターの研修を受ける等、法人内外での認知症介護研修に参加し、日頃のケアを振り返り、尊厳について考える機会としている。会議内容も言葉遣い、呼び名等接遇に関する内容を取り入れている。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 自己決定できるような言葉かけや、待ちの介護を心掛け、個々の希望や思いを出して頂けるような言葉かけを行うようにしている。入浴の準備などもご本人に選んでいただくようにしている。 | 自己決定できるような言葉かけや、待ちの介護を心掛け、個々の希望や思いを出して頂けるような言葉かけを行うようにしている。入浴の準備などもご本人に選んでいただくようにしている。 | | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者本位のペースで1日を過ごして頂けるように、利用者本人の思いや意思を大切にしている。 | 利用者本位のペースで1日を過ごして頂けるように、利用者本人の思いや意思を大切にしている。 | | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 就寝、起床時には更衣を行っている。ご自分で顔を洗えないご利用者に関しては、専用のおしぼりを準備し顔を拭いて身だしなみを注意している。又、ご家族も化粧品を購入されおしゃれの支援をしている。 | 就寝、起床時には更衣を行っている。ご自分で顔を洗えないご利用者に関しては、専用のおしぼりを準備し顔を拭いて身だしなみを注意している。又、ご家族も化粧品を購入されおしゃれの支援をしている。 | | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の配膳、片付けのお手伝いはして頂いている。月に数回を食事作りの計画を立案し、普段は食事の準備をされないご利用者に食事づくりの場を提供している誕生日や季節の食事も職員と一緒に計画し楽しんでいただいている。 | 食事の配膳、片付けのお手伝いはして頂いている。月に数回を食事作りの計画を立案し、普段は食事の準備をされないご利用者に食事づくりの場を提供している誕生日や季節の食事も職員と一緒に計画し楽しんでいただいている。 | 食事は、併設の施設で調理がされ、ホームではご飯、汁物を作っている。しかし、食事やおやつ作りを定期的に計画し、利用者と職員と一緒に楽しみながら活動している。日常的に後片付け等出来る事を手伝って頂いている。 | | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 併設施設の管理栄養士の献立のもとバランスのとれた食事を提供している。又食事の量、水分量についても個々に合わせ提供し、チェックを行い支援している。 | 併設施設の管理栄養士の献立のもとバランスのとれた食事を提供している。又食事の量、水分量についても個々に合わせ提供し、チェックを行い支援している。 | | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、口腔ケアを行っている。個々の状態に応じて介助をし、できない方については洗口液や義歯洗浄剤を用い、清潔が保持できるようにしている。 | 毎食後、口腔ケアを行っている。個々の状態に応じて介助をし、できない方については洗口液や義歯洗浄剤を用い、清潔が保持できるようにしている。 | | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA(南ユニット) (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB(北ユニット) (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|------|--|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 排泄チェック表を使用し、個々にあった排泄パターンでトイレ案内を行っている。夜間帯はオムツ着用されているご利用者も昼間はトイレでの排泄を目指し、自立に向けた支援を行っている。 | 排泄チェック表を使用し、個々にあった排泄パターンでトイレ案内を行っている。夜間帯はオムツ着用されているご利用者も昼間はトイレでの排泄を目指し、自立に向けた支援を行っている。 | 退院時にオムツ使用の方が誘導によりトイレでの排泄が可能になる等、自立に向けた支援を積極的に行っている。排泄支援のみでなく、筋力の維持、精神的な自立支援とも捉え、力を入れ、支援している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 排泄チェック表を使用し、毎日確認を行っている。自然排便を促す為に、牛乳の提供や水分摂取に心掛け、昼食前のラジオ体操や散歩などの運動や腹部のマッサージを行い対応している。 | 排泄チェック表を使用し、毎日確認を行っている。自然排便を促す為に、牛乳の提供や水分摂取に心掛け、昼食前のラジオ体操や散歩などの運動や腹部のマッサージを行い対応している。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている | 個々の状態に応じ、いつでも入浴できるように支援している。又利用者の希望も考慮し、できる範囲で対応している。(重度化したご利用者については、特浴で対応している) | 個々の状態に応じ、いつでも入浴できるように支援している。必要があれば毎日入浴の言葉かけを行っている。(重度化したご利用者については、特浴で対応している) | それぞれの希望や習慣に合わせて、いつでも入浴出来る体勢がある。重度化された方にも安心して入って頂く為、最近、特別浴槽を設置した。入浴を断られる方には時間をずらしたり同性介護をする等、入居者に合わせ臨機応変な対応をしている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 午前、午後共に本人のペース、状態に応じて休息していただいている。寝具については枕の高さを調節し、快適な睡眠がとれるように支援している。 | 午前、午後共に本人のペース、状態に応じて休息していただいている。寝具については枕の高さを調節し、快適な睡眠がとれるように支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 服薬管理は職員が行っている。薬の内容については、ファイルに綴りいつでも確認できるように対応している。薬の服薬介助時は確認表を用い、誤薬や服薬忘れがないように努めている。 | 服薬管理は職員が行っている。薬の内容については、ファイルに綴りいつでも確認できるように対応している。薬の服薬介助時は確認表を用い、誤薬や服薬忘れがないように努めている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 個々の状態に応じて役割分担を行い、それぞれにあった対応をしている。希望があれば行事計画を立案し、外出支援を行い気分転換の支援をしている。 | 個々の状態に応じて役割分担を行い、それぞれにあった対応をしている。希望があれば行事計画を立案し、外出支援を行い気分転換の支援をしている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 毎月の季節に応じた行事や買い物等を行っている。毎日の状況やご本人の状態に応じて散歩など出来る限り対応し支援している。又病院受診、美容室、ドライブ等ご家族の協力も得ている。 | 毎月の季節に応じた行事や買い物等を行っている。毎日の状況やご本人の状態に応じて散歩など出来る限り対応し支援している。又病院受診、美容室、ドライブ等ご家族の協力も得ている。 | 季節によっては日常的な散歩をし、近隣への花見、気分転換に買物に出掛ける等入居者の状況を見ながら支援している。喫茶店でひと時を過ごしたり、外食も喜ばれる行事である。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA(南ユニット) (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB(北ユニット) (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|------|--|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 買い物等できるように支援しているが、支払いや管理は職員が行っている。 | 買い物等できるように支援しているが、支払いや管理は職員が行っている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話はご家族からかかってくる事はありますが、かける機会はほとんどない。 | 電話はご家族からかかってくる事はあり、ご利用者が希望があれば、電話をかける支援をしている。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 音、光、温度等は十分留意している。又窓の外を見て季節を感じて頂いたり、フロアに季節の花を飾ったり、貼り絵や塗り絵等を行い飾って工夫している。 | 音、光、温度等は十分留意している。又窓の外を見て季節を感じて頂いたり、フロアに季節の花を飾ったり、貼り絵や塗り絵等を行い飾って工夫している。 | 広くゆったりしたフロアは、食事とくつろぐスペースが別になっており、居心地よい環境である。窓からは四季が感じられ、生け花や季節の貼り絵で雰囲気づくりがされている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | フロアのソファや玄関先のベンチがあり、思い思いに過ごせるような居場所の工夫を行っている。 | フロアのソファや玄関先のベンチがあり、思い思いに過ごせるような居場所の工夫を行っている | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 使い慣れた家具や鏡台、テレビ等を使用している。 | 使い慣れた家具や鏡台、テレビ等を使用している。 | 使い慣れた筆筒、テレビ、冷蔵庫等それぞれ入居者の好みに応じて、居心地の良い個室がつけられている。日頃作成されている貼り絵等も飾られ、個性が感じられる。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 自室、トイレ、お風呂等分かれる方がほとんどであるが、分られない方に対しては、言葉掛けを行い対応している。 | 自室、トイレ、お風呂等分かれる方がほとんどであるが、分られない方に対しては、言葉掛けを行い対応している。 | | |

| V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入) | | | | |
|--|--|---------------|-------|----------------|
| ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します | | | | |
| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 | | |
| | | ユニットA | ユニットB | |
| ↓ 該当するものに○印をつけてください | | | | |
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいの |
| | | | | 3. 利用者の1/3くらいの |
| | | | | 4. ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38) | ○ | ○ | 1. 毎日ある |
| | | | | 2. 数日に1回程度ある |
| | | | | 3. たまにある |
| | | | | 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 | | |
|-----|--|---------------------|-------|----------------|
| | | ユニットA | ユニットB | |
| | | ↓ 該当するものに○印をつけてください | | |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての家族と |
| | | | | 2. 家族の2/3くらいと |
| | | | | 3. 家族の1/3くらいと |
| | | | | 4. ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20) | ○ | ○ | 1. ほぼ毎日のように |
| | | | | 2. 数日に1回程度ある |
| | | | | 3. たまに |
| | | | | 4. ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4) | ○ | ○ | 1. 大いに増えている |
| | | | | 2. 少しずつ増えている |
| | | | | 3. あまり増えていない |
| | | | | 4. 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての職員が |
| | | | | 2. 職員の2/3くらいが |
| | | | | 3. 職員の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が |
| | | | | 2. 家族等の2/3くらいが |
| | | | | 3. 家族等の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |